

7月14日

元村長さんから ふるさとの歴史を学ぶ

吉田地区の小学校4、5年生が通学合宿の最終日、ふるさとの歴史を勉強しました。

当初、町内を歩きながらふるさと研究を行う予定でしたが、この日はあいにくの雨。屋内での講義に変わりました。講師の元村長の堀江眞さんは、古くは江戸時代にさかのぼっての話や合併のこと、吉田公園の成り立ちなどを紹介。

昭和52年、吉田小学校が火事で焼失した際、子どもたちのために一日も早く学校を再開しようと村民が一丸となって再建に取り組んだ話に、子どもたちは熱心に耳を傾けながら、生まれる前の町の様子を想像していました。



7月18日

花を飾って明るいまちに

三 刀屋小学校の児童が花で町を飾ろうと町内の施設に学校で育てた花の苗を配りました。

同校児童らは、毎年夏休み前の下校時に、三刀屋保育所や、三刀屋総合センターなどに立ち寄り、きれいな花を咲かせてほしいとポットに入れた苗やプランターに植えた苗をプレゼントします。

来春、小学校に入学する三刀屋保育所の年長組の子どもらは、小学生のお兄さん、お姉さんからポットに入った花苗をひとつずつ受け取ると、大きな声で「大切に育てます」とお礼を言っていました。

花を渡した児童は「緊張したけど、喜んでもらえてよかった」と安心して話してくれました。



7月27日

まちづくり役場で 夏休み体験教室

大 東町のまちづくり役場で親子のふれあいや地域との交流の場にと小中学生を対象に夏休み体験教室が開催されました。

まちづくり役場を拠点に活動する親木遊楽部（郷原政義代表）と丸子山陶芸教室（白根廣久代表）が、それぞれおやこ木工教室、おやこ陶芸教室を企画しました。

このうち、陶芸教室には13組の親子が参加。初めて体験する人が多く、慣れない手つきながら一生懸命取り組む人、またうまくできず手伝ってもらう人とさまざまでしたが、親子で楽しい時間を過ごしていました。



木工教室



陶芸教室



8月5日

環境美化活動の一環 どっちが高く積めるかな？

第3回雲南市空き缶積み上げ大会が開催され、参加した小学生15チームが空き缶の積み上げの高さを競いました。



この大会は「環境美化活動を実践している」ことが参加の条件となっており、選手代表の深野神楽こども教室の草光千里さんは「日ごろから神楽と同じくらい環境美化活動に励んでいる。今日はおうちと一緒に最後まであきらめずに戦い抜く」と力強く選手宣誓。

8月5日

心和む水琴窟の茶席

道の駅掛合の里の水琴窟に茶席が設けられ、訪れる人たちにその音色とともにお茶が振る舞われました。

この催しは道路ふれあい月間にあわせて毎年行われている掛合の夏の風物詩で、道の駅掛合の里を愛する会「おあしす54」が主催。地元公民館活動で茶道を習っている小学生も参加し、国道54号を通行中に休憩に立ち寄る観光客らを茶席に案内しては、お茶を振る舞っていました。



市の女性は「涼やかな風が吹く中、水琴窟の音を聞きながらの茶席はとても心が和んだ」と思いがけないのもてなしにっこり。暑い日にひとときの涼を満喫した様子でした。

8月5日

行ったことないところツアー第2弾

雲 南市内行ったことないところツアーが行われ、市民など34人が参加しました。

このツアーは雲南市をもっと知ろうと、市内の名所や観光スポットを巡る日帰りツアーとして大東町のまちづくりグループ「だいつう未来塾」が企画したものです。

昨年の秋の吉田町を巡るツアーに続き第2弾となる今回は「水」をテーマに、三刀屋町の雲見の滝や掛合町の八重滝、龍頭が滝、酒蔵資料館などを巡りました。

豊富な水量で流れ落ちる滝は迫力満点。暑い一日でしたが、参加者たちは滝の水しぶきを浴びながら涼しいひとときを過ごしました。



龍頭が滝



雲見の滝の説明を聞く

8月5日

環境美化活動の一環 どっちが高く積めるかな？

第3回雲南市空き缶積み上げ大会が開催され、参加した小学生15チームが空き缶の積み上げの高さを競いました。



この大会は「環境美化活動を実践している」ことが参加の条件となっており、選手代表の深野神楽こども教室の草光千里さんは「日ごろから神楽と同じくらい環境美化活動に励んでいる。今日はおうちと一緒に最後まであきらめずに戦い抜く」と力強く選手宣誓。

